

4歳児クラス <4月 3原色アート>



やさしいK-ART

テーマ《3原色アートワーク》

4歳児クラスの初回は導入として、キットパスという画材で混色とフレーミングの技法を使ったアート作品を作ります。

<テーマを決める>

日常生活の中であふれている色について、興味を持って考える機会にしましょう。何色が好き？っていう話はよくすると思うけど、その色ってどうやって作るのかな？

<問いを考える>

○色に関する問い

「(作品イメージを見せて) この作品には何色使われていると思う？」

「色ってどうやって作られているか知ってる？」 (混色への興味)

「好きな色は何？」 「好きな色を自分で作れるのかな？」 「この色は何と何を混ぜたの？」

3原色+白でいろいろな色が作ることができるという『混色』を学び、子どもたちが自由に塗る中で偶然にできた色について考えてみました。

○画材・道具に関する問い

「キットパスを折って使うのはなぜ？」

クレヨンを使っていると鉛筆持ちできれいに使うことが多いと思います。折ったらダメ、手を汚したらダメと言われるのに、なぜアートの時は折るのか？という理由をみんなで考えてみましょう。

また、鉛筆持ち、側面を使う、指でのばす・・・など、色の混ざり方や感触の違いを手で感じ取ってもらいます。

<環境をデザインする>

「まっすぐな線を引くにはどうしたらいい？」

まっすぐな線を手で書くということはとても難しいことです。今回はマスキングテープを使い、まっすぐな線を描きます。

「画面分割」という難しい言葉もあえて使って覚えてもらうことで、子どもたちの達成感を向上させます。

「キットパスという画材は何で作られているのでしょうか？」

お米から作られた水溶性固形マーカー。そしてマスキングテープ、キャンバスなどの画材や道具の説明し、子どもたちが普段あまり使わない材料・道具を使いました。

1. 新聞紙
2. キャンバスボード
3. マスキングテープ
4. キットパス(赤、青、黄、白)
5. ベビーパウダー(粉、パフ)
6. 鉛筆
7. 持ち帰り用PP袋



4歳児クラス < 4月 3原色アート > 実施報告



4/21 4歳児クラス 三原色アート

キャンバスボードの触り心地を確認するところから活動を開始しました。

マスキングテープを貼る工程では、貼りたいイメージがみんなしっかりとありました。

キットパスや、三原色(赤、青、黄)についての説明をよく聞き、ギザギザやくるくるといった描き方、側面塗り、指で伸ばすなど、さまざまな方法を使ってキャンバスを塗る姿が見られました。制作の中では「みどりになった!」「指で伸ばすときれいになる～」と、色の変化を楽しみながら嬉しそうな様子も多くみられました。マスキングテープを剥がして完成した作品を見た際には、満足そうな表情を浮かべていました。マスキングテープを事前に貼ってから色を塗り、色を塗り終えた後にテープを剥がすことで、色が"塗られている部分"と"塗られていない部分"がはっきり分かれることを体験することができました。

飾る向きも自分で考えて決め、最後にサインもしっかり書くことができました。

5歳児クラス <4月 ふしぎなフクロウの森>



やさしいK-ART

テーマ《「ふしぎなフクロウの森」ワーク》

三原色アートの上級プログラムです。最後に木とフクロウをつけることによって、広い空間と不思議な世界観が広がります。

<テーマを決める>

題名から発想して「ふしぎなフクロウの森」を表現する

- ・色の混色を通して「ふしぎ」を表現する
- ・サイズ遠近法を使って空間（森の広がり）を表現する

<問いを考える>

○題名（テーマ）から発想してイメージを描くって？

結構いろいろなところで使われている。

たとえば、みんな大好きなポケモンのキャラクターもそうだよ。

どういうモンスターか？というテーマがあって、あのキャラクターができあがっているよ。

「のんびり・大きい・食いしん坊・動かない・安心感のある存在」

丸くて大きいぬいぐるみ感が安心感のあるイメージを見た目にしているよね。

○色に関する問い

- ・世の中の色は、青・赤・黄の三原色＋白の4色でほとんど作れるんだよ。知ってる人！
- ・ふしぎな色ってどんな色だろう？
- ・見たことがない色って作れるかな？
- ・赤・青・黄色・白を混ぜると、どんな変化が起きるかな？

○空間・構成に関する問い

- ・この森はどれくらい大きいのかな？
- ・木を大きく見せるにはどうしたらいいと思う？
- ・小さいフクロウはどこに貼ったら遠くにいるように見えるかな？
- ・近くと遠くって、どう違って見える？

<環境をデザインする>

- ・三原色＋白に限定することで「気づき」が生まれる。
- ・フクロウの形に切ったシール
- ・木の形に切ったシルエットパーツ
- ・意図を持って制限をすることでこどもの考える力が育つ
- ・大きいものをより大きく、小さいものをより小さく見えるようにするための材料を準備する。

1. キャンバス
2. キットパス 3原色＋白
3. 鉛筆
4. 木パーツ
5. フクロウシール
6. ボンド
7. ベビーパウダー



5歳児クラス <4月 ふしぎなフクロウの森> 実施報告



4/21 5歳児クラス ふしぎなフクロウの森

見本を見せると「わあ〜！」と歓声が。

そして、「なにを使って塗ってるのかな？」「絵の具でしょ！」「クレヨンじゃない？」などの声。

最初に行った線を引く工程で、すんなりと線を引きました。線によって生まれる複数のスペース(部屋)を塗る工程では、年中さんと同様に三原色(赤、青、黄)と白のキットパスを使い、色作りに挑戦しました。色を重ねたり、指で伸ばしたりする中で変化を楽しみ、「私はピンクを作りたいの。」と意気込んでいたり、「むらさき色ができた！」「炎っぽい色になったよ！」など目を輝かせながら喜ぶ姿が見られました。また、「どうやったらキミドリ色になる？」と友達に尋ね、「黄色と青を混ぜるとキミドリ色になるよ」と教え合うなど、友達同士で関わりながら学ぶ様子も見られました。木のパーツはボンドで貼り付け、フクロウのシールは自分の好きな位置を考えて配置し、完成。自分の作品を見て、とても満足した様子でした。それぞれの個性が出て、素敵な作品となりました。